



海へと続く



飛州新道



昭和 20 年代後半から 30 年代にかけて、鍋冠山、大滝山の脇を抜け上高地に至る「三郷スカイライン」の計画がありました。

その計画を 150 年ほどさかのぼる江戸時代の後期に、「飛州新道」と呼ばれる信州と飛州(岐阜県)を結ぶスーパー輸送路が開削されました。

その開削の目的、歴史、そして、かかわった人々の努力や苦難などについて学びます。



天保六年（1835）に通行許可を得た飛州新道

- 日時 令和 8 年 1 月 27 日（火）
午後 1 時 30 分～3 時
- 場所 三郷公民館 講堂
- 講師 千村 裕一さん(安曇野市文書館職員)
- 持ち物 筆記用具
- 申込、参加費 不要

問い合わせ先
三郷公民館 白井
電話 77-2109

